

全養協通信

平成25年10月10日 発行

全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会

東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

〒100-8980 TEL03-3581-6503 FAX03-3581-6509

<http://www.zenyokyo.gr.jp/>

「全養協通信」は、全養協事務局から全国の児童養護施設にお送りしています

《今号のトピックス(見出し一覧)》

1. 「さしのべた その手がこどもの 命綱」～11月は児童虐待防止推進月間～
2. ファミリーホーム設置促進に向け検討を開始～厚労省がワーキンググループを設置～
3. 子ども虐待防止世界会議 名古屋 2014 を開催
4. エンターテイメントによる児童虐待防止の取り組み～第2回Child Aid Live開催のご案内～
5. 全社協・全養協からのお知らせ

《今号の同封物一覧(会員施設)》

1. 児童虐待防止啓発ポスター等(B2版ポスター1部、A3版まちかどポスター1部、A4版リーフレット5部)
2. 平成25年度 児童虐待防止に向けた行動方針
3. 子ども虐待防止世界会議名古屋2014開催案内
4. 子ども・子育て全国フォーラム開催案内
5. 日本鏡餅組員各社からの鏡餅の寄贈に係る案内文書

1. 「さしのべた その手がこどもの 命綱」～11月は児童虐待防止推進月間～

国は毎年11月を児童虐待防止推進月間(以下「推進月間」と定め、児童虐待防止に関する様々な活動と呼び掛けています。今年の標語は、『さしのべた その手がこどもの 命綱』に決定し、来月1か月間にわたり、行政や関係団体を中心として、広報・啓発活動や講演会・研修会等の開催、電話相談等の取り組みを集中的に実施することとしています。

本会も協力団体として児童虐待防止の趣旨に賛同し、積極的に取り組みを進めることとしておりますので、各施設におかれましてもご協力をお願いいたします。

つきましては、広報・啓発用ポスター、リーフレット等、各地域における広報等にご活用いただければ幸いです。

2. ファミリーホーム設置促進に向け検討を開始 ～厚労省がワーキンググループを設置～

厚生労働省は、ファミリーホームの設置を推進するため、省内にワーキンググループ(座長、横堀昌子青山学院女子短期大学教授・本会中央推薦協議員、以下「WG」)を設け、10月9日に第1回会合を開催しました。

ファミリーホームは、子ども子育てビジョンにおいて、平成26年度までに140か所整備す

ることとされていますが、家庭的養護の促進のため、厚労省は今後、更に大幅な整備が必要としており、将来的には1,000か所程度の設置を見込んでいます。

こうしたことから、WG では設置に係る具体例や工夫事例を収集し、留意すべき点等を整理したうえで、設置マニュアルの作成等を行うこととしています。また、ファミリーホームの運営状況を類型別に分析するとともに、養育者の研修充実や養育者を孤立化させない取り組みなどについても検討するとしています。

WG は本会から吉田副会長が委員として参画するほか、乳児院、里親、児童相談所、ファミリーホーム関係者を含む全6名で構成されています。今後4回程度開催した後、報告をまとめる予定です。

3. 子ども虐待防止世界会議 名古屋 2014 を開催

平成 26 年 9 月 14 日（日）～17 日（水）に、子ども虐待防止を目指す専門家や関係者が集う機会として、子ども虐待防止世界会議が開催されます。ISPCAN 世界大会としては初めて、開催国の学術集会（「第 20 回日本子ども虐待防止学会（JaSPCAN）」）と ISPCAN 世界大会との共同開催で実施されます。

世界各国から参加者を募り、4 日間のプログラムが検討されています。詳しくは同封の案内および下記ホームページをご参照ください。

日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN) <http://www.jaspcan.org/>

4. エンターテイメントによる児童虐待防止の取り組み

～第2回Child Aid Live開催のご案内～

本会が構成団体として参画する Child Aid 実行委員会は、児童虐待防止キャンペーンライブとして、アーティストやタレントが参加する「第2回 Child Aid Live」を開催します。関心のある方は、下記ホームページをご覧ください。

日 程	平成 25 年 11 月 20 日(水)～23 日(土) ※プログラムは日毎に異なります。
会 場	赤坂 BLITZ

Child Aid 実行委員会 <http://childaid.jp/>

5. 全社協・全養協からのお知らせ

(1) 第 67 回全国児童養護施設長研究協議会申込受付中です

11 月 20 日（水）～22 日（金）の 3 日間、三重県伊勢市「伊勢市観光文化会館」他にて、「第 67 回全国児童養護施設長研究協議会（三重大会）」を開催します。

本年度は『『社会的養護の課題と将来像』の実現に向けて～これからの社会的養護が進む道～』をテーマに、養育単位の小規模化に向けた取り組み・施策対応や、児童養護施設の課題解決に向けた取り組み等について研究討議を行います。初日には、三重県立相可高等学校食物調理科専門調理師教諭の村林新吾氏より「食を通して人を育てる」をテーマにした記念講演等のプログラムを予定しています。本件の申込締切は 10 月 18 日（金）17 時となっております。

お間違いのないよう、お早めにお申し込みください。

なお、既にお申込みいただいている方につきましては、11月5日頃を目途に、参加券等を郵送にてお送りいたします。

大会の詳細は、すでに各施設に送付している開催要綱をご確認ください。(開催要綱等は全養協ホームページ <http://www.zenyokyo.gr.jp/>でも掲載しています)

日 程	平成 25 年 11 月 20 日(水)～22 日(金)
会 場	伊勢市観光文化会館、他(三重県伊勢市)
参加対象	児童養護施設長および職員、社会福祉法人等役員、永年勤続表彰被表彰者、児童福祉関係者
定 員	600 名
参加費	17,000 円(宿泊費・意見交換会費・昼食費は別途)
申込締切	平成 25 年 10 月 18 日(金)

(2) 児童虐待防止に向け行動を求める提言をとりまとめました ～全社協の検討委員会において行動方針を決定～

全社協の新たな子ども家庭福祉の推進基盤の形成に向けた取り組みに関する検討委員会(委員長・柏女霊峰淑徳大学教授、以下「検討委員会」)は、このたび「平成 25 年度児童虐待防止に向けた行動方針」(以下「行動方針」)を決定、関係団体へ周知・協力を依頼しました。

行動方針は、①関係団体や住民等の連携強化、②子どもの最善の利益に係る支援活動の強化、③広報・啓発活動の強化の3つを大きな柱に掲げ、共通の行動方針のもとに、児童虐待防止に向けた具体的な行動をとることを、関係団体へ呼びかけています。

本会も検討委員会に参画し、行動方針策定のプロセスに関与してきたことから、各施設においては、行動方針の趣旨に則り、各地域の実情に応じて、具体的な行動に積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。詳細は、同封の「平成 25 年度児童虐待防止に向けた行動方針」をご参照ください。

(3) 子ども・子育て全国フォーラムにご参加ください(10/22 全社協・灘尾ホール)

10月22日(火)、全社協は「児童虐待と向き合う地域社会をめざして」とのテーマのもと、子ども・子育て全国フォーラムを開催します。日頃から児童虐待防止に取り組む関係者が集う機会となりますので、皆さまふるってご参加ください。詳細は、別添開催案内(再送)をご覧ください。(開催案内等は全養協ホームページ <http://www.zenyokyo.gr.jp/>でも掲載しています)

日 程	平成 25 年 10 月 22 日(火)
会 場	全社協・灘尾ホール(東京都千代田区)
参加対象	全国の児童福祉施設関係者や社会福祉協議会関係者等子ども家庭福祉を推進する機関・団体等関係者、民生委員・児童委員、マスコミ関係者、子ども・子育てに関心のある方等
定 員	250 名
※申込締切	平成 25 年 10 月 18 日(金) ※締切延長しました